

推敲あれこれ

風間博夫×高野公彦

⑨



◆「も」はなるべく使わない

ぶどう狩り二人興ぜし日も遙か友も逝
きたり甲州遠し
ぶどう狩り友と興ぜし日のありて遙か
なり友は逝きてしまひぬ
(原作)
(改作)

◆述語を省いてはいけない

高野 こんにちは。推敲の仕方について
選者のかたがたと毎回電話で対談をして
いますが、今月は風間さんです。宜しく
お願いします。推敲例をいくつか用意し
ていただきました。

草取りして痛む右手にサロンパス血管
浮くをしばし見てをり (原作)
草取りして痛む右手にサロンパス貼り
血管の浮くを見てをり (改作1)
血管が浮くほど励む草取りで右手を痛
めサロンパス貼る (改作2)

風間 これは「サロンパス」の後ろに述
語が必要なんです、それが無いので、

「サロンパス貼り」としました。その代
わり「しばし」を削除しました。

高野 それが改作1ですね。あまり必要
のない「しばし」を消したので、うまく
行きましたね。

風間 もし作者が「草取りに励むと血管
が浮き出る」と言いたい場合は、改作2
のような表現でいいと思います。

高野 なるほど。

風間 原作は、右手のどこにサロンパス
を貼るのか、血管がどこに浮き出るのか
その辺りが不明なので、これ以上直せま
せんが、自分の歌だったら、そういう点
を明確にします。

高野 歌の作者は、自分の歌が何を表現
しているか、また何を表現していないか、
それを自分でちゃんとチェックする必要
がありますね。

風間 これは「も」が二つも出てくるの
で、消してみました。

高野 日本人はよく「日も暮れて」とか
「夜も更けて」と言うけど、「も」は何と
なく通俗的ですね。それを消して、いい
歌になりました。「二人」を「友と」に
直して、意味を明確にしたのもいい。

風間 原作に「甲州」とありますが、甲
州に住む友ではなくて、友と一緒に甲州
へ行った、ということでしょうね。

高野 それで「甲州」を省いた。
風間 ええ。

高野 改作をよく見ると、葡萄狩りをし
た日も遙かで、また友も遙か遠くになっ
た、というふうな「遙かなり」が二重に
働いている気配があつて効果的です。

風間 そんなに褒められると恐縮します
ね(笑)。

◆通俗的な言い方はやめよう

おのづからワクチン接種待ちわびる朝顔の花咲き初めるころ (原作)

ワクチンの接種を五月より待てば朝顔の花咲き始めたり (改作)

風間 「待ちわびる」は通俗的な言い方なので、単に「待つ」としました。

高野 いいですね。

風間 また「おのづから」は、しぜんにそうなった…の意でしょうが、ここでは必要ないと思います。

高野 そうですね。無くてもいい。

風間 具体的にいつごろから待っていたか、それが分からないので、仮に「五月より」としてみました。

高野 その「五月より」で歌の輪郭が明らかになりましたね。

ひたすらに米を研ぐ夕とく音のいつしか接種接種と聞こゆ (原作)
米を研ぐ夕べひたすら米を研ぐその音接種接種と聞こゆ (改作)

風間 「研ぐ夕」が詰まった感じなので、「夕べひたすら」としました。

高野 「夕」は「夕日、夕方」のように他の言葉と結合した時だけユウと発音し、「夕」一語ではユウベと発音します。

風間 結果的に、間違いを直したことになるましたね。この歌、「接種接種」に飛躍力があって、魅力的です。

◆自分勝手なルビはやめよう

おはやうと笑顔で老犬いぬに言葉かく喉を鳴らして近寄りてくる (原作)
おはやうと笑顔で言へば老犬は喉を鳴らして近寄りてくる (改作)

高野 ここからは私の用意した推敲例です。この歌、ロウケンと言えは字余りになるので、「老犬」をイヌと詠ませている。安易な方法ですね。

風間 よく「老母はは」や「亡父ちち」というようなルビを見かけますが、「老い母」「亡き父」と言うべきですね。

高野 そうです。歌を読むと、「亡き」が無くても父が亡くなっていることが一首全体から分かる場合が多い。

風間 川柳が一句出来ました。「やめましょう不要なルビとずるいルビ」(笑)。

◆むやみに使役動詞を使わない

勤務地へ車走らすそのあひだ心とますユーミンを聴く (原作)

勤務地へ車で走るそのあひだ心の和むユーミンを聴く (改作)

高野 例えば「咲く」の使役動詞は「咲かせる」ですが、ほくは「梅が花を咲かせる」という言い方はわざとらしくて嫌いです。普通に「梅の花が咲く」と言うほうが素直でいい。

風間 この歌の場合「車走らす」は構わないと思いますが、「心和ます」は「心の和む」のほうが主體的、直接的でいいですね。きつとこの作者は松任谷由実が好きなんでしょう。

高野 ほくも昔からユーミンが大好きです。今こんな戯歌ざれうたが浮かびました。「あ」と一首歌が足りない締切日心の和むユーミンを聴く」(笑)。今日はありがとうございました。

イラスト「鬼に金棒」(高野公彦画)